



平成30年8月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年4月11日

上場会社名 株式会社 サイゼリヤ

上場取引所 東

コード番号 7581 URL <http://www.saizeriya.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀埜 一成

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長兼財務部長 (氏名) 潮田 淳史

TEL 048-991-9611

四半期報告書提出予定日 平成30年4月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年8月期第2四半期の連結業績(平成29年9月1日～平成30年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年8月期第2四半期	74,822	6.1	3,720	19.8	3,890	22.3	2,275	27.8
29年8月期第2四半期	70,548	0.3	4,638	44.2	5,004	48.5	3,152	59.9

(注) 包括利益 30年8月期第2四半期 2,396百万円 (51.6%) 29年8月期第2四半期 4,949百万円 (495.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年8月期第2四半期	45.96	45.77
29年8月期第2四半期	62.61	62.38

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年8月期第2四半期	101,298	81,181	79.8	1,640.43
29年8月期	102,731	80,412	78.1	1,618.63

(参考) 自己資本 30年8月期第2四半期 80,871百万円 29年8月期 80,189百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年8月期		0.00		18.00	18.00
30年8月期		0.00			
30年8月期(予想)				18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年8月期の連結業績予想(平成29年9月1日～平成30年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	156,500	5.5	9,600	14.4	9,900	16.7	6,200	17.3	125.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年8月期2Q	52,272,342 株	29年8月期	52,272,342 株
期末自己株式数	30年8月期2Q	2,973,323 株	29年8月期	2,730,579 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年8月期2Q	49,515,135 株	29年8月期2Q	50,359,703 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界経済の好調から企業収益が伸び、緩やかな景気回復基調となりました。しかしながら雇用・所得環境の改善が賃金の上昇には繋がっておらず、個人消費は本格的な改善には至っておりません。北朝鮮や中東情勢の地政学リスクに加え、米国の通商政策や国内の政治への不安が残っており、先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、労働力不足による人件費の増加や東京オリンピック開催準備に伴う建設費の高騰など、厳しい状況が続いております。また原油価格の上昇によるエネルギー価格の高騰も懸念されております。

このような状況のもと、当社グループといたしましては、国内外における継続的な新規出店や店舗サービスの品質向上に努めて参りました。また従業員同士の関係性を重視したコミュニティ強化プログラムを拡大するなど、従業員にとってより働きがいのある職場の実現と離職率の改善に取り組んでまいりました。

これらの取り組みの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は748億22百万円（前年同期比6.1%増）となりました。しかしながら、円安による輸入食材価格の高騰及び生産性の悪化による労務費の上昇等により、営業利益は37億20百万円（前年同期比19.8%減）、経常利益は38億90百万円（前年同期比22.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は22億75百万円（前年同期比27.8%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①日本

既存店対策としてお客様視点でのサービス強化などに努めたことにより、売上高576億19百万円（前年同期比3.1%増）、しかしながら、円安による輸入食材価格の高騰及び生産性の悪化による労務費の上昇等により、営業利益は16億95百万円（前年同期比47.6%減）となりました。

②豪州

当社で使用する食材の製造等を行っており、売上高23億93百万円（前年同期比12.9%増）、営業利益は62百万円（前年同四半期は営業利益3百万円）となりました。

③アジア

新規出店による新規顧客の獲得や現地に合わせたサービスを行ったことにより、売上高171億33百万円（前年同期比17.1%増）、営業利益は19億55百万円（前年同期比36.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は1,012億98百万円となり、前連結会計年度末と比較して14億33百万円の減少となりました。主な要因は、現金及び預金の減少18億3百万円、テナント未収入金の減少3億47百万円、商品及び製品の増加8億22百万円などであります。

負債合計は201億16百万円となり、前連結会計年度末と比較して22億3百万円の減少となりました。主な要因は、未払法人税等の減少13億65百万円、賞与引当金の減少1億23百万円などであります。

純資産合計は811億81百万円となり、前連結会計年度末と比較して7億69百万円の増加となりました。この結果、自己資本比率は79.8%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、356億7百万円（前年同期比26億81百万円の増加）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、33億12百万円（前年同期比21億39百万円の減少）となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益34億30百万円、減価償却費29億81百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、33億85百万円（前年同期比9億69百万円の増加）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出31億8百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、18億17百万円（前年同期比5億19百万円の増加）となりました。これは、主に自己株式の取得による支出9億69百万円、配当金の支払額9億4百万円等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年8月期の通期の業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえて予想した結果、変動が生ずることとなったため、以下の通り修正いたします。

なお、平成29年10月11日に発表しました通期の業績予想との差異は以下の通りです。

平成30年8月期（通期）連結業績予想（平成29年9月1日～平成30年8月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想（A）	156,000	12,500	12,800	8,400	169	74
今回修正予想（B）	156,500	9,600	9,900	6,200	125	29
増減額（B－A）	500	△2,900	△2,900	△2,200	—	—
増減率（%）	0.3	△23.2	△22.7	△26.2	—	—
前期実績	148,306	11,216	11,885	7,496	151	48

平成30年8月期（通期）個別業績予想（平成29年9月1日～平成30年8月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想（A）	120,000	9,300	5,700	115	18
今回修正予想（B）	120,400	6,300	3,500	70	73
増減額（B－A）	400	△3,000	△2,200	—	—
増減率（%）	0.3	△32.3	△38.6	—	—
前期実績	117,259	8,619	5,151	104	10

（個別業績予想の修正）

営業利益、経常利益及び当期純利益に関しましては、円安や悪天候などによる食材価格の高騰、生産性の悪化による労務費の増加、見積り価格が乖離しガス代の増加などにより、前回予想を下回ることとなりました。

（連結業績予想の修正）

営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益に関しましては、個別業績予想の修正に伴い、それぞれ前回予想を下回る見込みです。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	37,410	35,607
テナント未収入金	1,217	870
商品及び製品	5,716	6,539
原材料及び貯蔵品	916	976
繰延税金資産	669	580
その他	3,521	3,601
流動資産合計	49,454	48,176
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	25,386	25,010
機械装置及び運搬具(純額)	2,020	1,819
工具、器具及び備品(純額)	4,370	4,618
土地	6,954	6,945
リース資産(純額)	103	99
建設仮勘定	434	535
有形固定資産合計	39,269	39,029
無形固定資産		
	834	893
投資その他の資産		
投資有価証券	259	259
敷金及び保証金	9,912	10,073
建設協力金	697	583
繰延税金資産	1,948	2,026
その他	370	269
貸倒引当金	△14	△13
投資その他の資産合計	13,173	13,199
固定資産合計	53,277	53,122
資産合計	102,731	101,298

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,489	5,702
リース債務	9	9
未払法人税等	2,538	1,173
賞与引当金	1,371	1,247
株主優待引当金	154	76
資産除去債務	33	60
その他	6,938	5,932
流動負債合計	16,534	14,201
固定負債		
株式給付引当金	331	409
リース債務	104	99
繰延税金負債	37	32
資産除去債務	5,044	5,126
その他	267	247
固定負債合計	5,785	5,915
負債合計	22,319	20,116
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,612	8,612
資本剰余金	10,556	10,629
利益剰余金	63,557	64,929
自己株式	△5,191	△6,075
株主資本合計	77,535	78,095
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,654	2,775
その他の包括利益累計額合計	2,654	2,775
新株予約権	222	310
純資産合計	80,412	81,181
負債純資産合計	102,731	101,298

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年2月28日)
売上高	70,548	74,822
売上原価	25,139	27,445
売上総利益	45,409	47,377
販売費及び一般管理費	40,770	43,656
営業利益	4,638	3,720
営業外収益		
受取利息	94	123
為替差益	—	9
デリバティブ評価益	189	—
補助金収入	96	11
その他	56	42
営業外収益合計	435	188
営業外費用		
支払利息	1	1
為替差損	56	—
自己株式取得費用	—	5
その他	11	11
営業外費用合計	69	18
経常利益	5,004	3,890
特別利益		
補償金収入	—	8
その他	2	—
特別利益合計	2	8
特別損失		
減損損失	150	368
固定資産除却損	19	48
店舗閉店損失	53	51
その他	0	—
特別損失合計	223	469
税金等調整前四半期純利益	4,783	3,430
法人税、住民税及び事業税	1,547	1,138
法人税等調整額	83	16
法人税等合計	1,630	1,154
四半期純利益	3,152	2,275
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,152	2,275

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年2月28日)
四半期純利益	3,152	2,275
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,796	121
その他の包括利益合計	1,796	121
四半期包括利益	4,949	2,396
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,949	2,396
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,783	3,430
減価償却費	2,744	2,981
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△112	△133
株式給付引当金の増減額(△は減少)	—	79
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△80	△77
受取利息及び受取配当金	△94	△123
支払利息	1	1
為替差損益(△は益)	61	14
デリバティブ評価損益(△は益)	△189	—
固定資産除却損	19	48
店舗閉店損失	53	51
減損損失	150	368
補償金収入	—	△8
テナント未収入金の増減額(△は増加)	296	347
たな卸資産の増減額(△は増加)	△205	△880
その他流動資産の増減額(△は増加)	304	37
買掛金の増減額(△は減少)	△182	171
その他流動負債の増減額(△は減少)	△330	△956
その他	72	196
小計	7,292	5,550
利息及び配当金の受取額	71	106
利息の支払額	△1	△1
法人税等の支払額	△1,911	△2,351
補償金の受取額	—	8
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,451	3,312

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年2月28日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,391	△3,108
無形固定資産の取得による支出	△3	△183
敷金・保証金・建設協力金の支出	△332	△223
敷金・保証金・建設協力金の回収による収入	396	242
その他投資に関する収入及び支出(△は支出)	△84	△111
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,415	△3,385
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△485	—
自己株式の取得による支出	△0	△969
配当金の支払額	△908	△904
ストックオプションの行使による収入	95	56
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,298	△1,817
現金及び現金同等物に係る換算差額	969	86
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,707	△1,803
現金及び現金同等物の期首残高	30,217	37,410
現金及び現金同等物の四半期末残高	32,925	35,607

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。